



森の息吹

No.139 11月号
2017.10.29 発行
編集代表：五賀利雄
0133-26-3738

10月の活動報告 協働の森では今年最後の作業・宿泊研修会では活発な話

9月30日(土) 当別22世紀の森 新山川草木ヘルプ作業 参加者4名 天候曇り

22世紀の森の育樹祭に向けて7月に行った下刈り、草刈りの2回目の作業でした
参加者は4名と少人数で行いました。 昼食は前回同様にBBQを頂きました

※「どろ亀さん記念22世紀の森」については記念誌に詳しいです

10月1日(日)「弁華別協働の森」苗木つくりと種子の秋まき試験 参加者8名

町長宅の庭に自生したミズナラやハルニシの苗木を
50本ほどいただいて協働の森の苗場に新植した。
樹木種子はオニグルミ・クリ・チシマ桜・キタコブシ
ミズナラ・カヤの6種類で秋まき試験をしました。
積雪や害虫被害に耐えて越冬し来春の姿が楽しみである



10月7日(土)～10月8日(日) 宿泊研修会 道民の森神居尻地区 参加者6名 天候晴れ

研修内容として当初は講師を招いての間伐や枝打作業の実施学習会を予定していた。
また、北海道植樹祭のイベント用クラフトづくりも予定していたが都合で中止をした
夕食はBBQを囲みコテージでは酒を酌み交わし建設的な意見交換がなされた(模様)
当日の研修での協議事項は以下の通りです

- 1 物品、資機材の整備について
A 物品購入 b チェーンソーなど業者による点検
- 2 宿泊研修について
次年度以降の研修の在り方などの見直し



11月の活動案内

11月5日(日)

内容 「弁華別協働の森の会」主催の懇談会と学習会

時間 10:00～13:00

持ち物 筆記用具 昼食は主催者側で用意されます

※別紙の森の会からのパンフレットを参照してください

開始時間までに(株)キョウドウの会議室に直接集合して下さい

11月12日(日) B班

内容 ①10周年記念植樹の冬囲い

②備品のチェック、整備、機械のメンテナンス

集合場所と時間 山田氏倉庫前 9:00

活動場所 ①当別ダム 親水公園 ②山田氏倉庫 終了時間は13:00を予定

持ち物 昼食・飲み物・腰道具

※各活動に欠席の方は活動日3日前までに班長に連絡をお願いします



リレーコラム

「ハウチワカエデの移植」

葛西 重幸

昨年の秋にハウチワカエデを移植した。支柱が必要な大きさと
森林と言うより庭木の分野か。支柱3本を使う「八つ掛け」と
言われる方法に興味がある。

その支柱材は、一般的に焼き丸太や太い竹が使われている。
安価な細い竹（女竹）でも、細さ故に積雪圧に
耐えられるのではないか。札幌や小樽で支障は出なかったが
当別の降雪でも確かめたかった。また、支柱と支柱、
支柱と杭を細い鉄線の「結束線」を使った。

鉄筋工・とび職が「結束線」を使い、鉄棒を井桁に組むのに

1か所につき、3秒前後とシュロ縄や針金、くぎを使う従来の方法より格段に早い。

この2つで、時間、労働や経費の軽減にもなると妄想した。

しかし、今年の夏、結束線は1年も持たず錆び、切れてしまっているところも多く失敗
であった。

（この度、これ以外で学んだこと。）

○植え付ける土壌が、根鉢の底から地表まですべて粘土であった。穴を通常より大きく
し、腐葉土を多く入れて植え付けた。

水が滞留するだろうし、根が粘土に到達した後はどうなるのだろうか。

○排水用に暗渠もどきを作ってみた。畑で支柱に使った
根曲り竹を節の前後で切り分け、節の塊と中空の管を作り
排水路の中に敷いた。クルミを食べた後の殻も砂利がわりに
入れて土（実際は粘土）で埋め戻した。

材料は廃棄にかかわる問題がほぼないと考えた。

樹木を扱う機会がたまにあると、いろいろと試してみたくなる。

考えが浅く思わぬ方向に行ってしまうが少し勉強になる。



木に触れて
林で遊び
森と育つ



編集後記

上記のリレーコラムのハウチワカエデは実は我が家の庭に植樹されています
昨秋に葛西氏と植えて冬を見事に越して1年が経ち、現在は冬芽が見られます
ただし、この冬の積雪はかなり少なかったので豪雪に耐えたとは言えませんが…。
泥炭地の中で頑張っています。

もう一つ、今年の炭焼きが失敗に終わったので先日、ひとり炭焼きをしました。

新しく穴を掘りシラカンバの皆様の教え通りの手順で準備から点火

その後の煙を見ながらの火の当番と丸2日間を費やしましたが結果は燃焼不足で
あったのか（高温の熱風が窯内に回っていなかった）

開けてびっくり炭材は丸太のままで表面が焦げている程度でした。

100年早かったけど来年こそはいい炭を作るぞと誓うのでした。

記 岡田

